

2026	日	本
産	第61回	業
広	告	賞

参加要項





第61回 日本産業広告賞のご案内

日本産業広告賞は日刊工業新聞社が産業広告の健全な発展と質的向上を図る目的から、1966年に制定以来毎年実施しているものです。

61回目に当たります今回の日本産業広告賞も本賞制定の目的達成に向けて更に前進するため、新聞部門、雑誌部門、情報誌部門の参加作品を広く募ることにいたしました。

時代のスピードに対応しつつも、時として厳しい経済環境に直面している産業界で、企業理念の発露として、またマーケティング活動の一環として、産業広告がその役割を十分に発揮する必要性が高まっております。

奮ってご参加下さいますようお願い申し上げます。

第61回 日本産業広告賞

《新聞部門》

〔日刊工業新聞〕

日刊工業新聞広告大賞

本社賞／楯、海外研修招待

- | | | |
|----------|---------|---------------------|
| ■第1部 | 第1席(1点) | 本社賞／賞状・トロフィー、海外研修招待 |
| | 第2席(1点) | 本社賞／賞状・トロフィー、海外研修招待 |
| | 第3席(1点) | 本社賞／賞状・トロフィー、海外研修招待 |
| | 佳作(3点) | 本社賞／賞状、産業団体賞／トロフィー |
| ■第2部 | 第1席(1点) | 本社賞／賞状・トロフィー、海外研修招待 |
| | 第2席(1点) | 本社賞／賞状・トロフィー、海外研修招待 |
| | 第3席(1点) | 本社賞／賞状・トロフィー、海外研修招待 |
| | 佳作(3点) | 本社賞／賞状、産業団体賞／トロフィー |
| ■シリーズ広告賞 | 第1席(1点) | 本社賞／賞状・トロフィー、海外研修招待 |
| | 第2席(1点) | 本社賞／賞状・トロフィー、海外研修招待 |
| | 第3席(1点) | 本社賞／賞状・トロフィー、海外研修招待 |
| | 佳作(3点) | 本社賞／賞状、産業団体賞／トロフィー |
- ※特別賞に該当する場合(若干点)本社賞／賞状・記念品

《雑誌部門》

第1席(1点) 本社賞／賞状・トロフィー、海外研修招待

第2席(1点) 本社賞／賞状・トロフィー

第3席(1点) 本社賞／賞状・トロフィー

佳作(3点) 本社賞／賞状、産業団体賞／トロフィー

奨励賞(若干点) 本社賞／賞状・記念品

※特別賞に該当する場合(若干点) 本社賞／賞状・記念品

《情報誌部門》

第1席(1点) 本社賞／賞状・トロフィー、海外研修招待

第2席(1点) 本社賞／賞状・トロフィー

第3席(1点) 本社賞／賞状・トロフィー

佳作(2点) 本社賞／賞状、産業団体賞／トロフィー

奨励賞(若干点) 本社賞／賞状・記念品

※特別賞に該当する場合(若干点) 本社賞／賞状・記念品

新聞部門参加規定

- 応募要領**—————ひろく産業界を対象とした広告で新聞部門は日刊工業新聞(全国版)への掲載をもって参加資格といたします。
なお応募点数についても制限はありません。

- 審査対象**—————〔日刊工業新聞〕
《日刊工業新聞広告大賞》 新聞部門の入席作品を対象とする。
《第 1 部》 スペース15段以上を対象とする。
《第 2 部》 スペース2.5段以上15段未満を対象とする。
《シリーズ広告賞》 スペース制限なしで、3点以上を対象とする。

- 掲載期間**—————2025年9月22日(月)～2026年9月18日(金)
- 入賞発表**—————2026年11月中旬の日刊工業新聞紙上にて発表。
- 注意事項**—————●参加作品の掲載時には必ず日本産業広告賞「参加申込書」を提出して下さい。
●参加作品は出稿契約枠外の臨時出稿といたします。
●参加作品に模倣などの事実が判明したときは、参加資格および入賞を取り消します。
●カラー作品については、掲載日の調整をお願いすることがあります。
※同一図案の複数の部門に応募することは認めません。
※同一企業が同一内容の作品を各部門にわたって応募され、審査の結果、複数部門で入席した場合は、原則として上位席次作品を入席とします。

雑誌部門参加規定

■**応募要領**—————ひろく産業界を対象とした広告で、日刊工業新聞社発行の月刊誌5誌に掲載をもって参加資格といたします。とくに業界、業種についての制限はありません。

なお応募点数についても制限はありません。

■**掲載雑誌**—————プレス技術・機械設計・機械技術・型技術・工場管理

■**審査対象**—————1頁以上(表紙・挿込みを含む)。

■**掲載月号**—————2025年10月号～2026年9月号

■**入賞発表**—————2026年11月中旬の日刊工業新聞紙上にて発表。

■**注意事項**—————●参加作品の掲載時には必ず日本産業広告賞「参加申込書」を提出して下さい。

●5誌の同月号に同じ作品を2誌以上掲載する場合は、発行日の早い雑誌のものを参加作品とします。

●参加作品は出稿契約枠外の臨時出稿といたします。

●メーカー、販売店などとのタイアップ広告の場合はいずれか一社名でお申し込み下さい。

●参加作品に模倣などの事実が判明したときは、参加資格および入賞を取り消します。

●カラー(4色)広告のポジ合成は2点以内。

●広告原稿は、データ入稿を原則とします。

※同一企業が同一内容の作品を各部門にわたって応募され、審査の結果、複数部門で入席した場合は、原則として上位席次作品を入席とします。

情報誌部門参加規定

■**応募要領**—————ひろく産業界を対象とした広告で、日刊工業新聞社発行の「新製品情報」誌への掲載をもって参加資格といたします。とくに業界、業種についての制限はありません。なお応募点数についても制限はありません。

■**審査対象**—————4/4頁以上(表紙・挿込みを含む)。

■**掲載月号**—————2025年10月号～2026年9月号

■**入賞発表**—————2026年11月中旬の日刊工業新聞紙上にて発表。

■**注意事項**—————●参加作品の掲載時には必ず日本産業広告賞「参加申込書」を提出して下さい。

●参加作品は出稿契約枠外の臨時出稿といたします。

●メーカー、販売店などとのタイアップ広告の場合はいずれか一社名でお申し込み下さい。

●参加作品に模倣などの事実が判明したときは、参加資格および入賞を取り消します。

●広告原稿は弊社の仕様書に沿って完全データで入稿して下さい。出力見本を必ず2枚添付して下さい。

※同一企業が同一内容の作品を各部門にわたって応募され、審査の結果、複数部門で入席した場合は、原則として上位席次作品を入席とします。

審査委員／表彰式

審査委員長
早稲田大学 商学学術院教授
嶋村 和恵

東京コピーライターズクラブ会長
谷山 雅計

専修大学 経営学部教授
石崎 徹

青山学院大学 経営学部教授
芳賀 康浩

東京工芸大学 名誉教授
福島 治

日本工作機械工業会 専務理事
柚原 一夫

日本産業機械工業会 代表理事・専務理事
秋庭 英人

一般社団法人日本電機工業会
専務理事
中嶋 哲也

旭化成株式会社 広報部長
坂元 善洋

NEC
フィールドマーケティング統括部
統括部長
戸田 淳

キャンノンマーケティングジャパン株式会社
ブランドコミュニケーション本部
メディア戦略部 部長
北島 由美子

株式会社クボタ
KESG推進部 担当部長
廣瀬 文栄

コマツ
ブランド戦略事業部
コーポレートブランディンググループ GM
山本 克明

株式会社スギノマシン
代表取締役社長
杉野 岳

パナソニック オペレーショナルエクセレンス株式会社
コーポレート・コミュニケーションセンター所長
深尾 祐紀子

日立建機株式会社
理事 ブランド・コミュニケーション本部長
紺野 篤志

富士フイルム ビジネスイノベーション株式会社
宣伝部 部長
朝倉 孝幸

富士通株式会社
グローバルマーケティング本部 コーポレートブランド統括部
ブランドエクスペリエンス部 メディアエキスパート
白石 陽太郎

エフサステクノロジーズ株式会社
インフラサービス部門 業務推進統括部
シニアディレクター
出口 拓夫

三木プリー株式会社
代表取締役社長 グループCEO
三木 康治

三菱電機株式会社
ブランドコミュニケーション部
新規プロジェクト担当部長
桑畑 一浩

株式会社安川電機
コーポレートブランディング本部
広報・IR部長
加藤 貴亮

日刊工業新聞社
小原 敏永

日刊工業新聞社
拝原 泰介

日刊工業新聞社
宇田川 勝隆

(順不同 敬称略)

- 審査**———上記審査委員による「日本産業広告賞審査委員会」で厳正に行われます。産業広告としての明確なコンセプト、訴求力、アイデア、デザイン、コピーを勘案して総合的に審査します。
- 表彰式**———2026年11月下旬、東京都内のホテルにて新聞部門、雑誌部門、情報誌部門の関係者の出席により、第61回日本産業広告賞の表彰式を執り行います。
- その他**———●本賞の詳細について、また応募にあたってのお問い合わせは本社、支社の係までご連絡ください。

前回の受賞作品

《新聞部門》

日刊工業新聞広告大賞



1951年に誕生したパナソニックの一般照明用蛍光灯は、2027年9月までにすべての生産を終了します。
 これからは、人にも環境にも配慮したLEDが、あなたと共に未来を照らし続けます。

パナソニックのLED

パナソニックは、LED照明の普及を通じて環境省が推進する国民活動「アコース」を応援します。

パナソニックは、LED照明の普及を通じて環境省が推進する国民活動「アコース」を応援します。



1951年に誕生したパナソニックの一般照明用蛍光灯は、2027年9月までにすべての生産を終了します。
 これからは、人にも環境にも配慮したLEDが、あなたと共に未来を照らし続けます。

パナソニックのLED

パナソニックは、LED照明の普及を通じて環境省が推進する国民活動「アコース」を応援します。

パナソニックは、LED照明の普及を通じて環境省が推進する国民活動「アコース」を応援します。



1951年に誕生したパナソニックの一般照明用蛍光灯は、2027年9月までにすべての生産を終了します。
 これからは、人にも環境にも配慮したLEDが、あなたと共に未来を照らし続けます。

パナソニックのLED

パナソニックは、LED照明の普及を通じて環境省が推進する国民活動「アコース」を応援します。

パナソニックは、LED照明の普及を通じて環境省が推進する国民活動「アコース」を応援します。

シリーズ広告賞 第1席
 全15段3本

《雑誌部門》

BK
文化シャッター

と広い 8m
扉内外で使用可能。フォークリフトのすれ違いも大丈夫な大開口モデル。

と速い 0.8m/sec
空調換気も便利に、換気扇や換気扉を防止するハイスピード開閉。

と強い 551Pa
(全開時・両側へ
下向き圧強設計)
扉を閉じた際も下向きパイプによりたかたかめる防漏風圧性能設計。

高速シートシャッター「大間速」に、大きな開口に対応する大開口対応モデル「ワイドプラス」が新登場。
高速開閉、高気密性をもち、さらに、防漏風性能の向上により、工場、大型倉庫、物流施設において安心してご使用いただけます。

高速シートシャッター
大間速ワイドプラス

設計
範囲

[W] 6.0m-8.0m
[H] 1.8m-5.0m

シャッターだけじゃない。文化シャッター

文化シャッター株式会社 〒113-8535 東京都文京区目黒1丁目1-3 ☎ 03-70-666-070 <https://www.bunka-sh.co.jp/>

第1席 2頁

《情報誌部門》

YASKAWA

まだ、人にしかできないと 思っていた領域へ

最先端の医療器具には、命を支える現場の緊張と責任が宿っています。患者状態の異なる器具が混在し、洗浄装置への投入と取出しを優先しながら、合図で仕分けを行う。状況は常に変化し、柔軟な判断が求められる。だからこそ、人の手によって変わらされた仕事です。

自律ロボット「MOTOMAN NEXT」は、器具の種類や状態を見分け、仕分けから洗浄装置への投入、取出しまでを行います。人の負担を軽減し、感染リスクを徹底的に低減させます。それは、医療現場に「もう一つの信頼できる手」を加えるということ。人にしかできないと思われていた領域へ、私たちはAIとロボティクスで挑み続けます。

MOTOMAN NEXT

ロボットアームの領域にのみ、AIが「考える」だけでなく、「動く」「辨別」「判断」する存在へと進化を遂げたつづきです。MOTOMAN NEXT は、AIとロボット制御技術が融合した、自律型ロボットアームを基盤とするオープンプラットフォームです。自律型ロボットアームと連携した自律型ロボットにより、作業量を柔軟にリアルタイムで調整・判断。従来は人の判断や経験に依存していた作業においても、安定した自動化が実現となり、生産性と柔軟性の両立を実現します。

詳しくは MOTOMAN NEXT 特設サイトへ

株式会社 安川電機

東京都 品川区東品川1-16-1 ユニコムビル5階505号 〒105-8591 TEL. 03(5420-4400) 東京支店 品川支店 <http://www.yaskawa.com> 〒215-8501 神奈川県横浜市中区 <http://www.yaskawa.com>

第1席 8/4頁

《協賛経済・産業団体》

(予定・50音順)

日本アルミニウム協会
日本機械工業連合会
日本経済団体連合会
日本工作機械工業会
日本産業機械工業会
日本自動車工業会
日本商工会議所
日本生産性本部
日本鍛圧機械工業会
日本鉄鋼連盟
日本電気協会
日本電機工業会
日本BtoB広告協会
日本フルードパワー工業会
発明推進協会

日刊工業新聞社

本社 〒103-8548 東京都中央区日本橋小網町14-1 ☎03(5644)7310(直通)
西日本支社 〒540-0031 大阪市中央区北浜東2-16 ☎06(6946)3351(直通)
名古屋支社 〒461-0001 名古屋市東区泉2-21-28 ☎052(931)6155(直通)
西部支社 〒812-0029 福岡市博多区古門戸町1-1 ☎092(271)5716(直通)

<https://www.nikkan.co.jp>